

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 2 月 23 日 (2017.2.23)

【公表番号】特表 2016-510866 (P2016-510866A)

【公表日】平成 28 年 4 月 11 日 (2016.4.11)

【年通号数】公開・登録公報 2016-022

【出願番号】特願 2016-500321 (P2016-500321)

【国際特許分類】

F 1 6 H 55/36 (2006.01)

F 1 6 D 41/20 (2006.01)

【F I】

F 1 6 H 55/36 A

F 1 6 D 41/20 A

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 1 月 18 日 (2017.1.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

穴を有するプーリー本体と、

前記プーリー本体の前記穴内に配置され、回転軸を画定するハブと、

前記プーリー本体の前記穴内に配置され、前記ハブと同心の一方向クラッチであって、

それぞれ摩擦面および片持ち端部を含む複数の片持ち部材であって、各片持ち部材が前記片持ち端部回りに枢動可能であるとともに、隣接する片持ち部材内に部分的に入れ子になって、前記プーリー本体の前記穴または前記ハブに面する各片持ち部材の前記摩擦面を有する環状本体を形成する、複数の片持ち部材、および

前記複数の片持ち部材の少なくとも 1 つに接触して、前記プーリー本体の前記穴または前記ハブと連続的な摩擦係合状態に前記複数の片持ち部材を付勢する付勢部材、を備える、一方向クラッチと、を備えるプーリーアセンブリであって、

各片持ち部材の前記摩擦面が前記プーリー本体の前記穴に面する場合、前記プーリー本体の主方向における回転が前記複数の片持ち部材を起動して、前記主方向における同時共回転のために前記プーリー本体を前記ハブに連結し、各片持ち部材の前記摩擦面が前記ハブに面する場合、前記ハブの主方向における回転が前記複数の片持ち部材を起動して、前記主方向における同時共回転のために前記ハブを前記プーリー本体に連結する、プーリーアセンブリ。

【請求項 2】

複数の付勢部材をさらに備え、片持ち部材につき 1 つの付勢部材が前記プーリー本体の前記穴または前記ハブとの連続的な摩擦係合状態に前記片持ち部材を付勢する、請求項 1 に記載のプーリーアセンブリ。

【請求項 3】

前記ハブまたは前記プーリー本体の前記穴が複数のコネクタを含み、各コネクタが片持ち端部において 1 つの片持ち部材を前記ハブまたは前記プーリー本体の前記穴に接続する、請求項 1 に記載のプーリーアセンブリ。

【請求項 4】

前記複数のコネクタがピンであり、かつ各片持ち部材の前記片持ち端部が前記ピンの１つを中に収容する雌レセプタクルを含む、請求項３に記載のプーリーアセンブリ。

【請求項５】

前記複数のコネクタが細長い突出部であり、前記片持ち部材の前記片持ち端部がその上に着座する、請求項３に記載のプーリーアセンブリ。

【請求項６】

前記複数のコネクタが、スリーブに配置され、該スリーブは前記ハブの少なくとも一部の周りに収まるか、または前記プーリー本体の前記穴に取り付けられる、請求項５に記載のプーリーアセンブリ。

【請求項７】

隣接する片持ち部材内に入れ子になった各片持ち部材の一部がステップを有する表面を有し、該ステップ上に前記隣接する片持ち部材の自由端部が着座する、請求項１に記載のプーリーアセンブリ。

【請求項８】

前記ハブが前記プーリー本体よりも速い速度で回転する場合、オーバーランニングを提供するために前記一方向クラッチが前記プーリー本体を前記ハブから切り離すか、または前記プーリー本体が前記ハブよりも速い速度で回転する場合、オーバーランニングを提供するために、前記一方向クラッチが前記ハブを前記プーリー本体から切り離す、請求項１に記載のプーリーアセンブリ。

【請求項９】

前記一方向クラッチに動作的に連結された第１端部と、前記ハブに動作的に連結された第２端部とを有するねじりバネをさらに備え、前記主方向における前記プーリー本体の回転が前記複数の片持ち部材を起動して、前記ねじりバネを巻きとるか、または展開して、前記主方向における同時共回転のために前記プーリー本体を前記ハブに連結する、請求項１に記載のプーリーアセンブリ。

【請求項１０】

前記ハブが前記プーリー本体よりも速い速度で回転する場合、オーバーランニングを提供するために前記一方向クラッチが前記プーリー本体を前記ハブから切り離す、請求項９に記載のプーリーアセンブリ。

【請求項１１】

前記一方向クラッチが複数のコネクタを有するスプールをさらに備え、前記スプールは、その周りに前記複数の片持ち部材を受け入れ、前記複数のコネクタのそれぞれが片持ち端部において１つの片持ち部材を前記スプールに接続する、請求項９に記載のプーリーアセンブリ。

【請求項１２】

前記複数のコネクタがピンであり、かつ各片持ち部材の前記片持ち端部が前記ピンの１つを中に収容する雌レセプタクルを含む、請求項１１に記載のプーリーアセンブリ。

【請求項１３】

前記複数のコネクタが前記スプールの外表面上の細長い突出部であり、前記複数の片持ち部材の前記片持ち端部がその上に着座する、請求項１１に記載のプーリーアセンブリ。

【請求項１４】

前記ねじりバネの前記第１端部が前記スプールの一部に対して着座する、請求項１３に記載のプーリーアセンブリ。

【請求項１５】

複数の付勢部材をさらに備え、片持ち部材につき１つの付勢部材が前記プーリー本体の前記穴または前記ハブとの連続的な摩擦係合状態に前記片持ち部材を付勢する、請求項９に記載のプーリーアセンブリ。

【請求項１６】

前記一方向クラッチに動作的に連結された第１端部と、前記プーリー本体の前記穴に動作的に連結された第２端部とを有するねじりバネをさらに備え、前記主方向における前記

ハブの回転が前記複数の片持ち部材を起動して、前記ねじりバネを巻き取るか、または展開して、前記主方向における同時共回転のために前記ハブを前記プーリー本体に連結する、請求項1に記載のプーリーアセンブリ。

【請求項17】

前記プーリー本体が前記ハブよりも速い速度で回転する場合、オーバーランニングを提供するために、前記一方向クラッチが前記ハブを前記プーリー本体から切り離す、請求項16に記載のプーリーアセンブリ。

【請求項18】

前記一方向クラッチが複数のコネクタを有するスプールをさらに備え、前記スプールはその周りに前記複数の片持ち部材を受け入れ、片持ち端部において1つの片持ち部材それぞれを前記スプールに接続する、請求項16に記載のプーリーアセンブリ。

【請求項19】

前記ねじりバネの前記第1端部が前記スプールの一部に対して着座する、請求項18に記載のプーリーアセンブリ。

【請求項20】

穴を有するプーリー本体と、

前記プーリー本体の前記穴内に配置され、回転軸を画定するハブと、

前記プーリー本体の前記穴内に配置され、前記ハブと同心の一方向クラッチであって、

摩擦面、片持ち端部、および自由端部を有する複数の片持ち部材であって、各片持ち部材が前記片持ち端部回りに枢動可能であり、前記複数の片持ち部材のうちの枢動している部材が前記複数の片持ち部材を枢動させるように、各片持ち部材の自由端部が隣接する片持ち部材の片持ち端部の半径方向外側または内側に位置し、前記複数の片持ち部材は、前記プーリー本体の前記穴または前記ハブに面する各片持ち部材の前記摩擦面を有する環状本体を形成する、複数の片持ち部材、および

前記複数の片持ち部材の少なくとも1つに接触して、前記プーリー本体の前記穴または前記ハブと連続的な摩擦係合状態に前記複数の片持ち部材を付勢する付勢部材、を備える、一方向クラッチと、
を備えるプーリーアセンブリであって、

各片持ち部材の前記摩擦面が前記プーリー本体の前記穴に面する場合、前記プーリー本体の主方向における回転が前記複数の片持ち部材を起動して、前記主方向における同時共回転のために前記プーリー本体を前記ハブに連結し、各片持ち部材の前記摩擦面が前記ハブに面する場合、前記ハブの主方向における回転が前記複数の片持ち部材を起動して、前記主方向における同時共回転のために前記ハブを前記プーリー本体に連結する、
プーリーアセンブリ。